

気象ビジネス推進コンソーシアム 会員の皆様

平素よりお世話になっております、
気象ビジネス推進コンソーシアム事務局です。

前回のニュースレターで募集させていただきましたセミナーですが、大変多くの皆様から参加登録のご連絡を頂き、数日で満席となりました。反響の大きさから本コンソーシアム会員皆様の期待を感じており、事務局一同、より気合を入れていかねばと決意を新たにしましたところ。さて、今回のニュースレターVol. 2の中身は以下のとおりです。

INDEX

1. 第2回運営委員会が5月17日に開催されました。
2. 気象ビジネス推進コンソーシアム (WXBC) のロゴが決定いたしました。
3. 講習会のご案内

1. 第2回運営委員会の開催

第2回の運営委員会が5月17日に開催されました。

第2回運営委員会では、第1回の運営委員会で決定した事項を踏まえ、更に議論が進められました。具体的には以下の事項が審議されました。

①コンソーシアムのロゴ

コンソーシアムのロゴを新たに決定しました。これについては別に「2.」でご紹介していますので、そちらをご覧ください。

②気象ビジネス推進コンソーシアム 細則

WXBC の運営の円滑化のために、既存の規約を補う細則を定めることとしました。具体的には、個人会員の扱い、WXBC 会員名簿の公表等について議論が行われました。今回の議論を踏まえて、次回の運営委員会で細目を決定する予定です。なお、知的財産権の扱いなど、更に決めていく事項がありますので、それらについては引き続き作業を進めてまいります。

③ ワーキンググループ (WG) の設立

会員の皆様のご参加表明頂きました。運営委員会で承認され、人材育成 WG は 8 者、新規気象ビジネス WG は 28 者でそれぞれスタートできることになりました。近日中に両 WG はコンソーシアムの活動の中心として、気象ビジネスの創出に向けた活動をスター

トします。

人材育成 WG では、コンソーシアムとして、どのような人材の育成を目指すのかを議論するとともに、それを踏まえた人材育成に向けた活動（セミナー等）の企画立案を行います。

新規気象ビジネス WG では、新規ビジネス創出に向けた具体的プロジェクトの検討及び実行（アイデアソン・ハッカソン等）を進めていきます。また、既に具体化を始めている企画として、事務局から日射（予測・観測）データ活用プロジェクト、及び、（一社）全国清涼飲料工業会と連携した実証プロジェクトを当面取り組むプロジェクトの案としてご提案させていただいており、作業を進めていきます。

これから本格的に活動をスタートする両 WG の活動については、会員の皆様にも知っていただけるよう努めてまいります。

④ 運営委員から人材育成担当、新規気象ビジネス創出担当、広報担当の選出

人材育成担当、新規気象ビジネス創出担当は、両 WG に参加する運営委員等にご担当いただくことになりました。広報担当につきましては、今回決定できませんでしたので、次回引き続き審議が行なわれます。

⑤気象衛星「ひまわり」に関するシンポジウムの共催

今年は、我が国初の実用衛星である静止気象衛星（ひまわり）が打ち上げられてから 40 年目の節目を迎え、平成 29 年 3 月には、世界最先端の観測機能を持つ新世代のひまわり 8 号・9 号による 2 機での運用体制が整いました。この機会に、ひまわりの歴史を振り返るとともに、新世代の静止気象衛星から得られる膨大な観測データの利活用に関するシンポジウムが 7 月 22 日（土）、一橋講堂において開催されます。このシンポジウムに関して、WXBC も共催者として参画します。

なお、会員の皆様には追って本シンポジウムのご案内をさせていただく予定です。

資料等についてはこちらをご参照ください。

<http://www.data.jma.go.jp/developer/consortium/steeringcommittee/index.html>

なお、近日中に議事概要を公開する予定です。

2. ロゴの決定！！

前回のニュースレターでもお知らせしておりました、ロゴが決定いたしました。

水色の「たまご」のような図形は「Weather」、オレンジは「Business」と意味付け、そ

れらが交わることによる「新しいビジネスモデルの形成」を表現いたしました。周りを覆うリング状のものは軌道を表し、「右上に発展・向上する」という意味付けをいたしました。その先端にある赤い丸は「Weather」と「Business」が合わさることで形成された「新たな成果」を表現いたしました。

なお、略称を文章で打つ際には、掛け算をイメージして X を小文字にしておりましたが、今後はロゴに合わせて WXBC と表記することにいたします。

3. 講習会のご案内

気象庁で開催しております講習会のご案内です。

気象庁では、民間気象事業者様等による気象情報の適切かつ効果的な利用を目的として、講演会を例年数回程度開催しております。今回は、平成 29 年度 7 月上旬より新たなステージに対応した防災気象情報の改善を予定していること、また、出水期直前であることを踏まえまして、改善される防災気象情報について、更に利活用推進に資するよう講習会を開催いたします。併せて、5 月 25 日に発表する 3 か月予報（6～8 月）等について、話題提供を行います。

なお、本講習会は、気象情報を高度利用している上級者向けであり、主に防災気象情報に関する説明が行われますので、ご参加を希望する場合は、その旨ご注意ください。

○日時：平成 29 年 5 月 27 日（土） 15:00～17:00

○場所：気象庁庁舎内（調整中）

○内容

（1）話題提供（15 分）

3 か月予報（6～8 月）及び「地球温暖化予測情報第 9 巻」の解説

（2）講習（90 分）

「新たなステージに対応した防災気象情報の改善～平成 29 年度の改善事項とその利活用～」

[概要]

交通政策審議会気象分科会提言「「新たなステージ」に対応した防災気象情報と観測・予測技術のあり方」を踏まえて平成 29 年度に実施予定の防災気象情報の改善事項（危険度を色分けした時系列の提供、警報級の可能性の提供、災害発生の危険度の高まりを評価する技術を活用した大雨・洪水警報や大雨特別警報の改善及び危険度分布の提供）とその利活用について具体的な事例を示しながら解説します。

○参加者

- ・予報業務許可事業者
- ・気象振興協議会会員

- ・ 気象キャスター
- ・ 日本気象予報士会会員
- ・ WXBC 会員（WXBC 会員の皆様からは先着 30 名程度募集いたします）

○ 申込方法

添付のエクセルファイルに必要事項をご入力いただくとともに、ファイル名に貴社名を加筆いただき、事務局までメールにて送付ください。期間が短く申し訳ございませんが、〆切は 5 月 24 日（水）までとさせていただきます。参加者多数の場合は募集を締め切る場合がございますので、あらかじめご了承ください。